

白杵市 施策評価シート
(令和2年度)

評価担当者	課名	氏名	内線
	社会教育課	川辺 宏一郎	7410

コード	I-2-5	施策名	親育ち・家庭教育の推進
施策の方針	子育てしやすい環境を整える		
まちづくりの方針	生活の土台を築き、笑顔あふれる市民が暮らすまち(健康福祉)		
5年後のめざす姿	感性豊かで健全な子どもを育てることを目的に、親として子育てについての必要な知識や技術・心構えを学び、子育てに対する「喜びや楽しみ」、「不安や悩み」について仲間同士で分かち合い、「親育ち」を推進できる機会の提供に努めます。		
施策の内容	白杵・野津中央公民館を拠点として、乳幼児期家庭教育学級を実施し、親子のふれあい学習の機会を提供します。		

<指標>

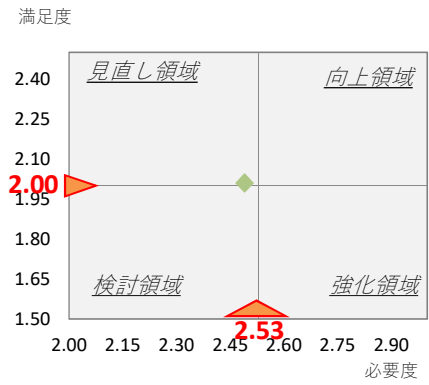
新規指標	指標名	説明・算式・引用	実績の推移							
			単位	R1	R2	R3	R4	R5	R6	
学習の場の提供箇所数		家庭教育学級など親育ちのための学習の場を提供した場所の数	目標	箇所	7	6	7	8	9	10
			実績		7	2				
			達成率			33.0%				
家庭教育学級の年間参加組数		家庭教育学級に参加した親子の組数	目標	組数	59	52	53	54	55	56
			実績		59	42				
			達成率			81.0%				
			目標							
			実績							
			達成率							
			目標							
			実績							
			達成率							
			目標							
			実績							
			達成率							
			目標							
			実績							
			達成率							
			目標							
			実績							
			達成率							

指標の分析

親育ちのための学習の場として家庭教育学級は白杵・野津中公民館など拠点では実施できたものの、学校等に出かけて行う活動が実施できなかったため、参加者数が減少しました。

<市民意識調査結果>

市民意識調査結果 (R2調査)	領域名	必要度	満足度
	見直し領域	2.49	2.01
市民意識調査結果分析	令和2年度実施のアンケート結果では、必要度が低く、「満足度」が高い「見直し領域」に位置しており、目標達成の状況やサービスの供給量を検証する必要があります。 施策の対象が、子育て世代のみとなり、取組みが広く市民全体へは周知されにくくなっています。今後は、市民ニーズにあった取組を行うとともに、周知の方法を工夫する。		



<次年度以降の課題>

令和3年度以降の課題	新型コロナウイルスの影響により、家庭教育学級の参加者減少が予想されるため、感染状況を注視しながら、開催方法や時期を検討し、親子で安心して参加できるよう環境整備に努めます。また、参加者のニーズに沿った取組みを進めるとともに、周知の方法を工夫します。
------------	---

<施策を構成する主な事務事業一覧表>

事務事業名	事業内容	担当課 ※実施した課を記入	課の重点 ※運営計画記載	事業費(単位:千円)			課長評価	公共5カ年	他の関連施策コード
				R1年度実績	R2年度実績	R3年度見込み			
1 家庭教育支援事業(親育て支援)白杵にじっ子	生後5ヶ月の乳児から就学前までの親子を対象に、親子のふれあいや交流を通じて、子育てママに寄り添った相談や育児支援を行うことを目的とします。講師による子育て講話等により、育児のスキルアップを支援する親育て事業である家庭教育学級などを実施します。	社会教育課	○	1,408	775	1,941	-		
2 家庭教育支援事業(親育て支援)野津スキップ	生後5ヶ月の乳児から就学前までの親子を対象に、親子のふれあいや交流を通じて、子育てママに寄り添った相談や育児支援を行うことを目的とします。講師による子育て講話等により、育児のスキルアップを支援する親育て事業である家庭教育学級などを実施します。	社会教育課	○	上記の予算に野津分を含む			-		
3									
4									
5									
6									
7									
合計				1,408	775	1,941			

<施策の今後の展開 ~担当課長評価>

進捗状況	親育ちのための家庭教育学級を継続し、子育て世代を支援する学習会や相談の機会の提供が必須ですが、昨今の新型コロナウイルスの影響により参加者数及び実施回数が増減したため、開催方法や時期を工夫し、安心して参加できる環境整備に努めます。	課長評価	目標を達するため、現状維持とする
------	--	------	------------------

<施策の今後の展開 ~内部評価(内部検討会)>

内部評価	目標を達するため、現状維持とする	指標の一部は目標未達成なものの、継続した取り組みを行う施策であると評価。
------	------------------	--------------------------------------

<白杵市行政活性化推進委員会による外部評価:最終>

評価のコメント	外部評価
家庭教育学級が、子の楽しい遊びの場、親の関わり方を学ぶ場となっていると聞いているし、今後も、親が親としてあるべきための学習場は必要。特に、スマートフォンの普及によるSNSの管理などを親が学ぶ必要性を感じている。コロナ禍で学習機会が減るようであれば、オンラインで情報交換できる仕組みなどを考える必要がある。	維持

<白杵市行政活性化推進委員会を受けての市の取組>

市が実施する家庭教育支援事業では、引き続き親育ての場を作っていくが、その実施内容については、今後検討したい。また、SNSの管理についても、学習機会の中で、取り扱えるよう検討したい。